



現代の実体主義に基づく形而上学 および論理哲学

大学院人文社会科学部 教授

加地 大介 | Kachi Daisuke
カチ ダイスケ

研究分野: O1思想・芸術

▶ <https://researchmap.jp/kachi/>

キーワード 存在論的カテゴリー論、様相論、真理論、実体、本質、能力、持続、穴、境界、鏡像、タイムトラベル

研究概要

私は、一般に「分析哲学」と呼ばれるタイプの現代哲学で採用されている種々の方法を用いながら、主に「形而上学」と「論理哲学」という両分野での研究を行っています。形而上学的研究としては、「もの(実体)」を基礎的存在者として位置づけるアリストテレス以来の「実体主義」を様相論的観点に基づいて再構築したうえで、個体・因果・時間などにまつわる存在論的諸問題について考察しています。論理哲学的研究としては、条件法・否定・存在・述定などの論理的基礎概念の解明とともに、実体主義的形而上学を前提としつつ、実在と私たちの表象行為を媒介する「真理付与(truthmaking)」という関係を中心とした真理論の構築を目指しています。

研究のアピールポイント

形而上学では、研究対象が時間・空間という「ものならぬもの」(『なぜ私たちは過去へ行けないのか』)から『穴と境界』という「ものもどき」を経て、何とか『もの』に到達したので、今は論理哲学に傾注しています。



『なぜ私たちは過去へ行けないのか』(2003)『穴と境界』(2008, [増補版]2023)



『もの：現代の実体主義の存在論』(2018)『論理学の驚き』(2020)